

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

ベネッセ雪が谷大塚保育園
大田区南雪谷 3-11-20
(株) ベネッセスタイルケア

1. 活動テーマ

表現：色 対象児：3・4・5歳児クラス

<テーマの設定理由>

・「色」と素材の両方に着目し、探求心を広げる活動を展開します。クレヨン・絵具・色鉛筆・折り紙など、様々な素材を使うことで、同じ色でも質感や表現方法が異なることを体験できます。例えばクレヨンの塗り重ねで生まれる深み、絵具を混ぜた時の新しい色、折り紙の透け感など、素材の違いが子ども達の好奇心を刺激します。活動を通じて、子ども達は『どうして同じ色でもクレヨンと絵具で見え方が違うのか』『色を混ぜるとどんな新しい色が生まれるのか』といった問いを自ら立て、主体的に探求を進めます。また、友だちと素材を交換しながら共同制作を行うことで、協働性や多様性を認め合う姿勢も育まれます。様々な活動を通して子ども達が色と素材の世界にわくわくしながら学びを広げ、創造力・協働性・探求心を育むことを目指します。

・日常の保育の中で、「好きな色」「きれいな色」などの会話や活動の中で色を話題にする姿がみられ、色を使った活動に集中して取り組む姿がみられたので「色」への興味関心が高いと判断しテーマに選びました。また、陶芸家の先生に定期的に指導にお越しいただいていることも、園の強みであると判断しました。

2. 活動スケジュール

- ①『お弁当箱』とテーマに絵画活動（クレヨンと絵具を使って）
- ②色紙と糊を使って『花火作り』
- ③ボディーペインティング
- ④『自画像を描いてみよう』（光を当てて輪郭を描いてから、思い思いに表現）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

画用紙・絵具・ビニールシート・クレヨン・糊
折り紙・ライト・乾燥棚

4. 探求活動の実践

<活動の内容>

- ①絵画の先生をお招きして『夢のお弁当箱を作ろう』をテーマに絵画指導を行う。クレヨンでお弁当箱を描いてから中に食べたい食べ物を描き始める。子ども達の様子をみながら友だちの絵の鑑賞や絵具を使うことを勧めてみることにより、更なるイメージの広がりがみられた。
- ②紙と糊を使って花火づくり。折り紙を指で千切り、糊付けした黒い画用紙に貼り付けていく。「ここは虹みたいに並べてみたよ」「きれいな花火みたいになってきたね」等、工夫して楽しむ姿が見られた。
- ③ボディーペインティング。最初は指で模造紙に描いたが、しばらくすると手の平を使ってのびのびと描き始めた。
次第に腕にも顔にも絵の具を塗るなど、大胆に遊べるようになっていった。

④影を使った絵画。子ども達の後ろから光を当て、影を使って輪郭の下書きをし、下書きをよく見ながらクレパスでなぞっていく。輪郭がかけた後は自分の顔を描いていく。慣れてくると「私は髪の毛はピンクにしようかな!」「僕は金色!」等、想像を膨らませて表現できるようになっていった。

<活動の様子がわかる写真、2枚以上>



5. 振り返り

- ・子どもたちは、ボディーペインティング・夢のお弁当箱の絵画・花火作り・そして光を使った自画像の活動等を通して、さまざまな素材や方法で表現する楽しさを味わっていました。
- ・ボディーペインティングでは絵の具の感触や色の変化を楽しみ、全身を使って大胆に表現する姿が見られました。夢のお弁当箱では、自分の好きな食べ物を思い浮かべながら色や形を工夫し、想像したものを描く喜びが広がっていました。
- ・花火作りでは、色紙をちぎったり貼ったりしながら、夜空に広がる花火を思い思いに表現し、構成する力が育っていることが感じられました。
- ・自画像では、光を当ててできた影をなぞりながら輪郭を捉える方法で取り組み、「顔ってこんな形なんだ」と新たな発見をする姿がありました。観察する力が深まり、一人ひとりの個性が表れた作品となりました。
- ・様々な活動を通して、子どもたちは感触・想像・観察・構成といった多様な表現に触れ、友だちと見せ合いながら表現の幅を広げていきました。